

『医者がすすめる専門病院』(平成22年5月15日刊)

に当院 **内科** が紹介されました



釧路労災病院 内科

所在地 釧路市中園町 13-23

☎ 0154-22-7191

スタッフ 宮城島拓人☆(消化器内視鏡、化学療法)、小田寿☆(胆膵、栄養)、山本純司☆(消化器内視鏡)、小西康平☆(消化器)ほか、常勤医6人、後期レジデント1人、非常勤医1人。



宮城島 拓人
1959年生まれ。
北海道大学医学部卒、同大学院修了

特色 消化器外科とタイアップして消化器病センターを構成、道東での消化器病診療の中心的な役割を担っている。特に消化器がんの診断治療に積極的で、早期がんの内視鏡的治療や腹腔鏡下治療、進行がんに対する化学療法や放射線治療などの集学的治療を得意とする。また北大第3内科の関連施設としてヘリコバクター・ピロリ菌関連疾患とその治療、消化器がん化学療法の全国的治験にも積極的に参加している。

症例数・治療・成績 内科としての1日平均外来数は250人、1日平均入院患者数は135人。そのうち消化器系疾患は70%強であるが、消化器がんのみならず肺がん、リンパ腫などの化学療法も積極的に行っている。08年度の年間の消化器内視鏡施行数は5,245件(うち大腸内視鏡施行数は1,789件)。腹部超音波検査数は2,698件、超音波内視鏡検査数は230件、膵胆道系の内視鏡処置件数は150件、経皮経肝的胆道ドレナージ術件数は38件、肝がんに対する動脈塞栓術は64件。また早期胃がん、食道がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は2年半で100例を超えた。穿孔は2例に認めたが完全切除率は100%。厚労省DPCデータに基づく病院の診療実績(08年度版)によると、食道がんの症例は1カ月7.5症例で道内4位、肝・肝内胆管の悪性腫瘍は1カ月19.3症例と道内8位の実績を示している。大腸がん、胃がん、膵がん、胆管がんなどの外来化学療法は1カ月平均120件で、積極的に外来治療を活用している。ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌はガイドラインに基づいて施行し、初回除菌率は80%。

医療設備 MRI、MDCT、DSA、半導体レーザー、アルゴンプラズマレーザー、超音波カラードプラ、電子内視鏡、超音波内視鏡。

外来診療 月～金。受付は午前7時45分～11時。セカンドオピニオンは要電話予約。

セカンドオピニオン受入 ○

主治医指名 △

執刀医指名 □

初診予約 △